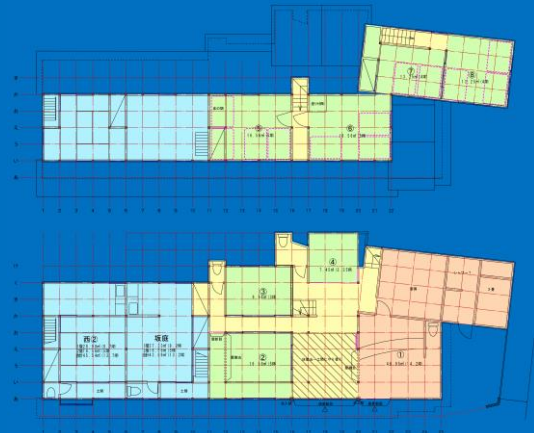


弁天横丁再生プロジェクト



弁天長屋再生へのご支援のお願い

ご支援：Aコース
1口 **45,000** 円の借入
(年1割ずつ9年間で返済する無利子の貸借契約)
※2021年4月1日以降の借入

ご支援：Bコース
ご寄付
(金額は問いません)
(詳細は裏面下段を参照)

現在、川越蔵の会が改修事業に取り組んでいる場所は、喜多町弁天長屋の「悦」という小料理屋が入っていた建物です。この建物は四軒長屋で、増築されていることもあり面積が180㎡以上と規模が大きく、なかなか借り手が見つかりませんでした。このため、当会では大家さんから借り受け、活用を図ることになりました。現在の計画では飲食店、SHOP、シェアオフィスなど複数の入居者でシェアする形で有効利用を図りたいと考えています。

入居者は、アート・ものづくりに携わるクリエイティブな若い世代を積極的に誘致し、特徴ある界隈を路地全体で創っていききたいと思えます。また同時に、横丁の人々のつながりを大切にしたい和気あいあいとしたコミュニティを再生させたいと考えています。

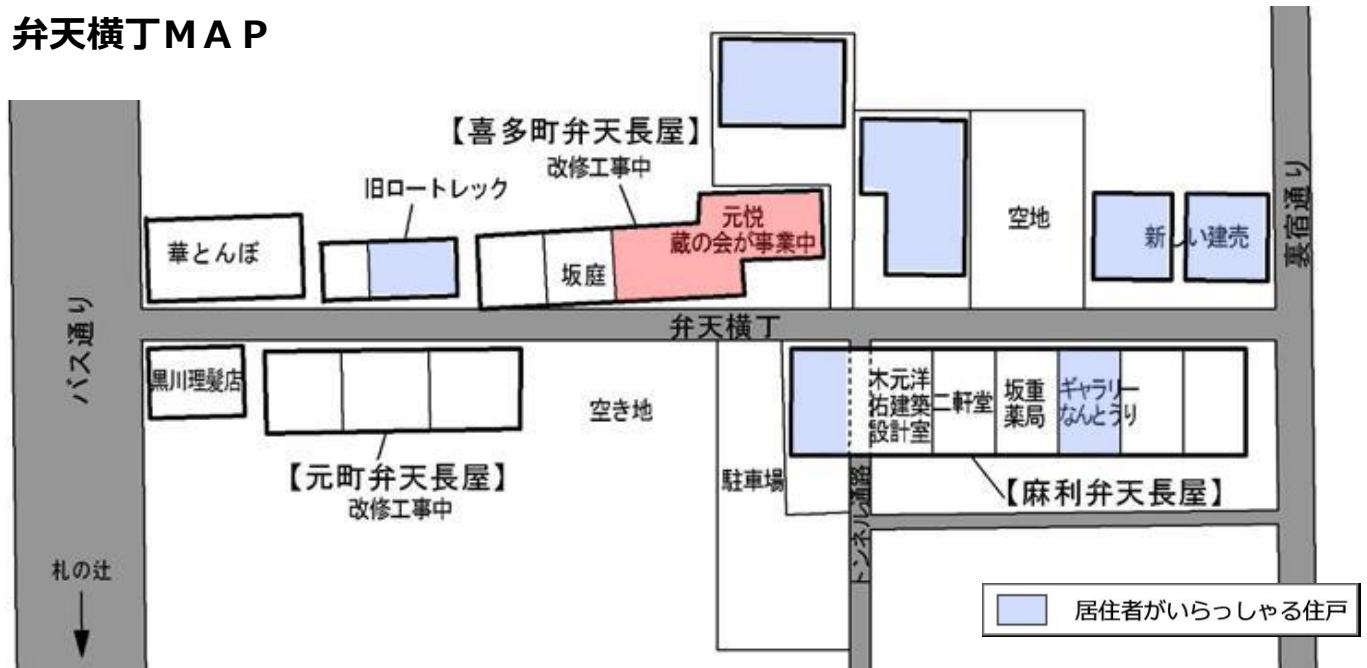
改修工事等の初期投資に必要な資金について、皆様のご支援を賜りましたら幸いです。ぜひご協力のほど宜しくお願い申し上げます。

【お問合せ先】
(NPO) 川越蔵の会
事務局

E-Mail : cloud-fd@kuranokai.org
住所 : 〒350-0062 埼玉県川越市元町 1-12-2 TEL/FAX:049-222-2330
(電話は事務局開設日のみ。HPの「スケジュール」をご覧ください。)
HP : www.kuranokai.org



弁天横丁MAP



【長屋の佇まいを大切に 古くて新しい文化発信エリアに】

長屋では、同じ屋根の下で生活する人々のつながりを大切に
したコミュニティから生まれる、昔ながらの和気あいあいとし
た下町生活文化があります。この弁天横丁を、一番街とも菓子
屋横丁とも異なる、アート・ものづくりを志す若者たちを主人
公にした新しい文化エリアとして再生したいと考えています。

【弁天横丁の歴史】

蔵造りの町並みのすぐ北、元町一丁目（旧町名＝本町）の通
りの1本北側にある通称弁天横丁は、細い路地を挟んで古い長
屋が軒を連ねる川越の中でも独特な雰囲気のある横丁です。明
治26年の川越大火以後に形成された路地です。今回改修事業
に取り組んでいる喜多町弁天長屋は、当初は、「埼玉縣重要物産
陳列所」として建てられた可能性が高い建物です。長屋には芸
者さんが住み、置屋という芸者さんを料亭などに差し向けるお
店もあり、往時は芸者横丁と言われていました。そのうち芸者
さんたちがそれぞれ飲食店を始めて、長屋の1階が飲み屋にな
っているところが何軒もありました。その後、飲み屋もおかみ
さんが亡くなったたりして、昔からのお店が全て無くなってしま
い、空き家が目立つようになりました。

川越蔵の会では、6年前に麻利弁天長屋という七軒長屋の一
角を借りて、ギャラリーとしてリフォームを行い「ギャラリー
なんとうり」がオープンしました。それ以降、同じ長屋に設計
事務所や「CAFÉ&ギャラリー二軒堂」が入居し、また喜多
町弁天長屋にも「坂庭」という革製品の修理のお店が入居し、
路地の様子が少しずつ変わってきつつあります。

■ご支援のご協力について

・現在、外部廻りや共用スペースを改修中ですが、大家さんから借りる賃料とサブリースする賃料の差額で、この工事に必要な初期投資を十年間かけて回収するという事業計画を考えています。この初期投資に必要な資金について、広く一般の方からのご支援を賜りたいと考えています。今年度の工事費用、賃料、維持管理費用等の見込みとして820万円程度を予定しています。このうち約360万円を蔵の会の資金から拠出し、460万円をご支援で募集する目標としています。

・ご支援の方法には以下の2コースがあります。

Aコース ~~1口5万円をお借りし、年1割ずつ10年間で返済する無利子の貸借契約~~

→2021年4月1日以降は、1口45,000円をお借りし、年1割ずつ9年間で返済する無利子の貸借契約

Bコース ご寄付（金額は問いません）

- ・ご支援いただいた皆さまへのささやかな特典として、進捗状況やイベントの企画などをお知らせさせていただく予定です。
- ・ご支援いただける方は、当会のホームページまたは別紙の「申込書」によりお申し込みください。